

# ワークショップ 降雪に関するレーダーと 数値モデルによる研究 in長岡 (第13回)

## 水物質の鉛直プロファイル～ この本質的かつ測りにくいもの

11月6日

- ▶ 荒木 健太郎 (気象庁気象研究所)  
「放射は天から送られたメールである メール解読の技術と応用」
- ▶ 清水 慎吾 (防災科学技術研究所 水・土砂防災研究ユニット)  
「関東地方におけるマイクロ波放射計ネットワークの構築」
- ▶ 幾田 泰醇 (気象庁予報部数値予報課)  
「GPM/DPRを利用した水蒸気推定と数値予報へのインパクト」
- ▶ 原 旅人 (気象庁予報部数値予報課)  
「南岸低気圧による関東での降雪の現業数値予報モデルによる予測可能性とモデルの気温時間変化率から見た降雪に至る気温低下のプロセスの解析 (2013年1月14日の関東での大雪事例を中心に)」

11月7日

- ▶ 石坂 雅昭 (防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)  
「降雪粒子観測・レーダー・モデルでみる低気圧影響下の降雪と特徴ある降雪粒子 - 2014年2月の南岸低気圧時の新潟における観測を中心に -」
- ▶ 三隅 良平 (防災科学技術研究所 水・土砂防災研究ユニット)  
「雪片の含水率に関する3つの経験式とバルク雲物理モデルの改良」
- ▶ 佐藤 研吾 (防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)  
「湿降雪に起因する着冠雪現象」
- ▶ 木村 祐輔 (新潟大学 大学院自然科学研究科)  
「冬季佐渡島周辺における降水分布の特徴」
- ▶ 加藤 輝之 (気象庁 気象研究所)  
「中部日本海側でのモデルが予想する降雪量の過小評価の要因と改善への取り組み : 観測された降水粒子との比較」

日時 : 2014年11月6日(木) 14時～17時35分  
11月7日(金) 9時～12時00分

場所 : (独) 防災科学技術研究所

雪氷防災研究センター大会議室 (参加無料)

